

- Ⅲ－9 大腸癌肺転移に対する定位放射線照射 (SRT) の検討
 ○齋藤 傑 諸橋 一 長谷部 達也 坂本 義之
 小山 基 村田 暁彦 袴田 健一
 (弘前大・院医・消化器外科学)

- Ⅲ－10 オーバーユース腱障害モデルに対するヒアルロン酸注射の影響
 ○飯尾浩平¹ 古川賢一² 山本祐司¹ 大石和生¹
 村上 学² 石橋恭之¹
 (弘前大・院医・整形外科¹ 同・病態薬理学²)

Ⅲ－11 世界糖尿病デーを活用した地域医療活動報告

○伊藤実喜 (医療法人建永会 明日実病院)
 奈良正人 (大館北秋田医師会)

提言 青森、秋田は高齢化率、発がん率、血管障害率トップを競う地区であり、改善課題が急務です。特に急増中の糖尿病は具体的対策が必要です。今回、国連主導の「世界糖尿病デー (11月14日はインスリン発見者フレデリックバンディンクの誕生日)」のイベントを活用して、地元の ITOKU ショッピングセンター大館と北秋田医師会と協働して糖尿病の啓発活動を二日間にわたって行いました。

方法 明日実病院は地元の生活を支える3階建ての大型ショッピングモールのすぐ前に位置し、しかもイベント開催するホールを有していたので、気軽に肩の凝らない内容 (問診、身長、体重、検尿、血圧、血糖、栄養相談、薬相談、歯科チェック、簡単筋トレ、運動療法、具体的食事指導、ショッピングのポイント、健康クイズ、生活指導講演) と、多くの方々に来ていただくために、チラシや鼻笛演奏やマジックショーも企画しました。

結果 来場者 121名 (男性 41名 女性 80名) 年齢 60歳以上 80% BMI25以上は 28% 血糖 150以上は 9.9% 200以上は 5.7%でした。問診で尿に糖が出た既往は 27% 入院治療教育歴は 9% 今まで糖尿病の知識指導教育を一度も受けていない方は 80%でした。食生活チェックでは、ご飯や麺類やパンなどのでんぷん食材が大好き (91%)・食後の甘いデザートが大好き (65%)・食事は3食きちんと食べている (85%)・食事はほとんど 30分以内に終わる (84%)・食後ほとんど動かない (41%)・野菜が不足している (44%)・手作りより外食が多い (24%)・日本酒、ワイン、ビールなど大好き (24%)・ストレスが多い (49%)・体重が「身長-100」以上ある (41%)でした。歯科チェックでは総数 22件で歯周病が 13.4%でした。アンケートではとても良い (44%)・良い (23%)・ふつう (7%)・悪い (1%)・無回答 (25%)でした。また、マジックショーや糖尿病健康クイズ Q&Aでの講演は大好評でした。

考察 食事生活では 30分以内にでんぷん食材をきちんと3食たべて、食後あまり動かない「でんぷん (炭水化物) 依存型食生活」が糖尿病発症の要因であることが確認できました。今後は生活を支えるショッピングモールなどで気軽に楽しめるイベントをミックスした地域医療活動が急務と思われる。